

2024年12月13日

日本建築学会
建築社会システム本委員会 幹事会

2024年度 大会 若手優秀発表賞の審査結果について

8月27日～8月30日に開催された2024年度日本建築学会大会（関東）において、建築社会システム部門における学術講演のうち、発表者が30歳未満のものから、9題の学術講演を若手優秀発表賞審査として選出しました。

記

講演番号	氏名	タイトル
8003	佐藤瞳	中古住宅流通の地域性に関する考察
8016	藤岡悠人	居住支援法人による住宅確保要配慮者の住まい確保の実態 京都府を事例として
8050	大西美波	四国地方の中山間地域における空き家の賃貸借に関する研究
8102	山本夏希	複数の用途転用を経た建築の変遷に関する研究 建築の生涯観察分析を通して
8118	松林優奈	米国州法における住宅地開発でのHOAの初期設定と開発事業者の役割
8124	俵健太郎	「コミュニティ大工」の活動からみた建築生産のあり方に関する研究 その2：ワークショップ現場の価値と可能性
8150	船曳彩香	建設技能者の技能習得に関する研究 メタ認知的言語化による技能向上
8179	津田英俊	ハaptic技術によるVRにおける建築物に対する触覚の再現に関する研究
8189	市島聰一郎	迷路解析によるAGVの経路決定と移動先でのロボットのタスク実行に関する研究

審査対象者数	91
顕彰者数	9
比率	9.9%

以上